

平成 22 年度 厚生労働省 「障害者総合福祉推進事業」 研修会

# 家族のメンタルヘルス と愛着に関して

近年、適切な時期に親子の絆・愛着の絆がうまく作られなかったことによる様々な問題を抱える子どもが増えていると言われています。一方、大人になり、親となっても、自分の親との関係に悩み、子育てや人間関係に困難を感じている人は少なくないのではないのでしょうか。

このたび社会福祉法人巣立ち会では、厚生労働省の「障害者総合福祉推進事業」の一端として、一般市民の方々や保健福祉活動に従事している専門職の方を対象に、「こころの健康」の向上を目指した研修会を開催します。

愛着について深い造詣を持ち、愛着障害の治療や治療法の普及にも努めてこられたヘネシー・澄子氏をお迎えして研修会を行います。日頃お仕事を通して子どもや家族と関わる機会の多い皆様、関心をお持ちの皆様、この機会にぜひご参加ください。

**開催日時** 平成 22 年 10 月 29 日（金） 18：30～20：30

**会場** 三鷹産業プラザ（裏面地図参照）701・702 会議室

\*会場への直接のお問い合わせはご遠慮下さい

**講師** **ヘネシー・澄子氏**（東京福祉大学名誉教授）

**参加定員** 100名（先着順）

**参加費用** 無料

**参加申込** 不要です

当日、直接会場までお越し下さい

**問い合わせ先**

社会福祉法人巣立ち会巣立ち工房  
（担当・勝又）

TEL・FAX

0422-33-5316



### ～講師ご紹介～

横浜生まれ、東京外国語大学仏語科卒後、ベルギーとアメリカに留学。ニューヨークフォードム大学で社会福祉修士号を、コロラドのデンバー大学で社会福祉学博士号を取得する。ニューヨーク市の貧困地域で非行少女対象のグループワーク、市立病院や私立病院でソーシャルワークを実践した後、ニューヨーク大学社会福祉大学院助教授となる。昭和49年コロラド州に移住して、州の発育遅滞者支援局のソーシャルワーク部長として勤務。発育遅滞者支援施設に働くソーシャルワーカーの訓練や教育にあたった後、外来のアジア太平洋人精神保健センターを創立し所長として平成12年に引退するまで、センターの発展と21ヶ国語でカウンセリングを行う73名のスタッフの育成に専念した。

平成12年4月新制の東京福祉大学に実習担当主任教授として、日本に単身赴任し、大学で教鞭をとりつつ、福祉現場実習全体の指導にあっていた。また日本各地で福祉の多分野にわたって講演や、事例研修会をおこなってきた。反応性愛着障害を書いた「子を愛せない母・母を拒否する子」（学習研究社）等の著書がある。

平成16年3月大学を退職してコロラド州に戻り、クロスロード・フォー・ソーシャルワーク社を夫と設立。日米両国の福祉分野に携わる人達の研修を行っている。愛着障害治療、トラウマ急性期治療、心的外傷後ストレス障害治療が専門。全米ソーシャルワーク協会のACSW、コロラド州臨床ソーシャルワーカー（LCSW）と、アメリカEMDR（眼球運動治療）の有資格者である。

### <アクセス>

三鷹産業プラザ

三鷹市下連雀3-38-4



#### <三鷹駅から>

中央通りを南下して3つ目の信号「三鷹産業プラザ東」を右折 一つ目の通り角（南口より徒歩7分）

#### <調布駅から>

小田急バス三鷹駅行き  
バス停「法専寺前」で下車、徒歩1分